① 昭和40年8月31日（火曜日） 館報たつおか 第115号

館報
たつおか

発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館編集部
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市伝馬町1 電961

「地財法」を準用する

―市民一人一人の問題と―
―して考えてみよう―

◇…今般市では、地財法（地方財政再建促進特別措置法）準用の方針をうち出した…◇
◇…これを会社の銀行管理にたとえる人もあり、病人の入院療法と説明する向もあ…◇
◇…るか、何れにしても市の財政に、赤信号がともっていることは確かであり、今…◇
◇…後これをどう再建していくか市民の生活にも、大きくひびいてきそうである。…◇

これは簡単にいうと赤字の地方公共団体を国の力で立直らせることを目的とした法律で、市長が市議会の議決を経て、自治大臣に申請し、更にその財政再建計画を議会の議決のもとに自治大臣の承認をうけなければならないことになっている。

その際自治大臣は、条件づきの承認を与えたり、又、実施状況を報告させて、それに適合しない場合には、その部分の執行停止等の措置を求めることができる。

地財法を準用した場合の特典は

一、赤字相当額を国から低利（六分五厘）で借入できること。

二、更に利子補給として初年度二分五厘、二年目から二分八厘の補助があること。

三、通常、地方交付税額と標準税収入額を合算した額の二割以上の赤字がある場合地方債が発行できないが、その制約がなくなる。

以上の三点が主なものであるが銀行借入利息の七分三厘との差額は、一と二を併せて初年度が五百万程度となりこれが、国の実質的補助額といえる。

尚、寄付金、負担金は原則として禁止乃至は、自治大臣の承認が必要となっている。

そこで、市財政の状況をみると昭和二四年度までの累積赤字が、約八、〇〇〇万円あり、三五年から三七年度までに一、六〇〇万円減らしたものの、三八年度に約三六〇〇万円、三九年度に四、六〇〇万円の赤字を出し、三九年度末現在で一般会計の赤字が、一四、七五九万円となっている。

尚、このうちに、未収分として三六・六災害の中電補償約三、三〇〇万円（見込）市土地売却代金四、五三〇万円、工事分担金三五〇万円等があり実質的な赤字は、六、五〇〇〇万円程度になると、市財政課では説明している。

赤字の原因は、いうまでもなく歳入より歳出が多過ぎた。つまり市の力以上の背伸びし過ぎた市政にあるといえよう。

特に学校の建設関係、三六・六災害の費用などが主因と云われているが、人件費などについても論議をよぶことが、予想される。

人件費は、職員約一〇〇〇人に対して約四一、〇〇〇万で予算規模一七五、〇〇〇万に対し四分の一弱となっている。

以上の数字には、上下水道、病院などの特別会計の赤字は含まれていないが、これについても今後どうしていくのか、大きい問額であろう。

この様な赤字を出した市理事者の責任を追求する声も強く、今後の成り行きが注目されるが、地財法準用にしても、自主再建にしてもできてしまった赤字を解消するには、地財法による行政水準は落とさないとはいうものの、それは他の同種同規模の市に比してということで非常にあいまいであり、歳入を多くする（税金を上げる、国や、県の補助を多くするなど）か、歳出を少くする（いままでより、仕事を少くする、合理化する）しか方法はない訳で、前述の通り、一七億余の予算規模に対し五百万程度の国からの補助をうけて再建を行なうのと、自力で再建するのと市民の生活、市政に対する影響がどうちがうか、市の自主性がどうなるかなど充分調査研究をし論議がなされなければならないと思われる。

尚、赤字額の推移をみて疑問に思われることは、三四年当時の赤字が、約八、〇〇〇万であり、中間でそれを減額でき得た実績があること、現在実質六、五〇〇〇万程度であること、更に市の財政規模及び貨幣価値の変動など考へ併せてみた時に、何故いまになって窮屈な法の適用をうけなければならないかということである。

又、それに伴って各種の抱負、公約を行って選出された市長、市会議員が、市政、市事業の面で果してそれを実行でき得るものかどうかも問題となろう。

何れにしても、市の赤字は、実際には、市民一人々々のものであり、理由や責任は別として、これの解消にみんなが協力しなければならないことになりそうである。

鼎、上郷の問題は残るとはいえ最近文字通りの大田園都市になり議員の大選挙区制、支所の統合など中央集権化の方向をとりつつあり、しかも近年相当の赤字を出している大飯田市のあり方について市民の立場から研究し、その声を反映させるよい機会であろう。

青年の主張

終戦記念日に思う

戦後二十年、現在の我国は独立国であり平和を守る先進国であると言われる。新幹線・高速道路・史上最大の祭典と云われたオリンピックとその施設、夏の海、山にさっそうと登場するマイ・カー族などは確かに我国のすばらしい発展を表している。しかし二十年経過した今、生々しい戦争のキズ跡はキズ口が開いたままだ。戦争の為に不自由な体となった人々、父親を夫を戦争で失った人々、原爆後遺症に悩む人、また戦地で、開拓で肉親を失ったまま未だ安否遺骨の解ない人々など今尚この繁栄の社会の片隅に細々と暮している現実を見、聞く毎に我々は複雑な気持となる。

しかも今、日本国内には六〇〇余の米軍基地があり、又南ベトナムへ軍用物資を運ぶアメリカ海軍のＬＳＴに乗組む日本人、原子力潜水艦の佐世保港入港、Ｂ52水爆搭載戦闘爆撃機の板付基地台風避難、またこれらの事件に対する政府のあいまいな答弁など、再び戦争参加の感が日々増加して行く事だ独立国として、また軍備を持たない平和憲法を持つ国に起るべき問題で無い様な気がしてならない。

特に沖縄は、南ベトナム戦争の重要な発進基地としてベトナム戦争が極度に達した現在、戦闘機発着原子力潜水艦の出入が非常に激しくなった事も承知の通りです。特にＢ52水爆塔載機が真接ベトナム攻撃に参加してから一層戦争の危機が深まった様である。

沖縄は太平洋戦争の本土防波堤として十万人に及ぶ人々の生命が散った土地であり、先日の青年会、沖縄報告会でもその現状が詳しく報告された。

まず沖縄の政治、島民の生活については、昭和二十六年四月、サンフランシスコ条約により日米間の戦争は終ったが、講和条約により沖縄は将来国連信託統治下に置れるが、その間米軍が施政権をもち、極東の戦争危機が去った時国連に移す事に決められ、危機の判断は米軍側にあると云われる。極東の平和は遠いものとして基地は着々強化され、現在に至った様である。

沖縄自治を行政するのが沖縄住民による沖縄政府である。法立的に見れば日本本土は外国となっている。

住民の生活は、山畑のやせた土地で平均反別四反歩七～八人の大家族を養って行くことが出来ない状態であり、若い人は皆軍作業にでている。農家の作宅はカヤぶき屋根に丸太の柱の小さな住宅の様である。一般労働者の生活は農漁民よりやや良いが低賃金で税金が高く物価も高いという事だ。教育は教科書が本土と同じであるが円通貨で教えるのにドル通貨である為に生徒も困る様である。また施設も老朽化して本土に比ると差が大きい様だ。

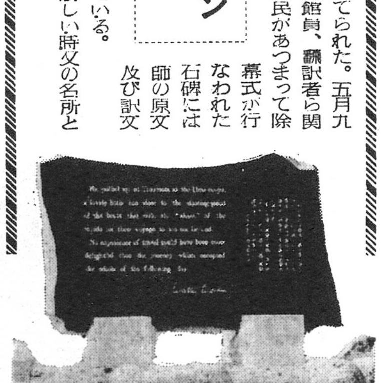
経済については物価は本土の一・四倍、エンゲル系数五〇％以上税金は年間二〇万円の独身者で二〇％、教育税その他を入ると実に三五～四〇％になるという。生活必需品に課税され、日用品が高くぜいたく品が安いといえる。また非行、犯罪が多く、基地を目当とした風俗営業も多く、軍人による犯行が多く発生しているといえるまた社会保障制度がなく、生命と財産を保障する何ものもないという。基地は核装備をミサイルによって強化され、Ｆ一〇五Ｄを中心として原爆、水爆、通常爆弾を積載して態勢を整えているなど報告された。終戦二〇年、平和、独立家庭の幸せといった問題を根本から考え直してみる必要にせまられた様だある。

ウエストン碑出来る

昨年十一月から始まった時又の堤防工事も完成し、今後の水害に対し文字どおり防波堤になってくれるものと時又住民はおおいに期待している。

その堤防の最上流部に、明治時代天竜下りを世界に紹介した英人牧師ウエストンの功績をたたえる碑が建てられた。五月九日、英国大使館員、翻訳者ら関係者及び地元民があつまって除幕式が行なわれた石碑には師の原文及び訳文がきざまれている。

ここも又新しい時又の名所となるだろう。



国民の糧だ

作る不安のない米価

米価問題

昭和四十年産米価運動が始まって以来決定時まで約六〇日間にわたって要求貫徹運動がなされ我々不満足なうちに米価が決定した。

その間北は北海道から南は鹿児島迄全米作農民が自分達の基本柱である米価をかちとる迄、毎日アセと泥の中、大同団結のもとに政府に対して闘い続けてきた。にもかかわらず、生産者の声は無惨にもふみにじられた。之は何が原因であるのか生産者にあくまでも究明しなければならないと思う。我々生産者は決して無理な要求をしたのではない。

云うなれば従来より堅持してきた「生産者所得補償方式」により併せて昨今の稲作実態からして米作労働時間当りの他産業との賃金均衡方法を改め、農業基本法の趣旨により、農業者と他産業従事者の生活水準の均衡を図るために算出したのが一俵当七、五九五円であり、更に年々諸物価は高騰する中に於て当然の要求をして来たのがその趣旨でもある。

それがなんと一俵当り六、五五五円とは……。米は非常に安ずぎる。米は人間の生命を守る最高のエネルギー！源であり乍ら生産者は何故こんなに安く売り渡しをしをしなければならないか？

〃国民の糧だ作る不安のない米米価〃

数年来、米価の要求をし、強力なる運動を共に展開してきたが、貿易の自由化が推進され輸入食糧は増大され国内の農産物は圧迫を受けている。ここに於て農民の生産意欲の減退、最近における米需給のひっ迫もここに根ざすといえましょう。

我々土に生きる者は、今後政府に対して食糧自給度向上の基本方針を樹立される様強く要望すると共に、農民が意欲的に農業に取り組むため、真に地についた農業政策と適正なる農畜産物の補償価格制度の実現を図るべく全国六百万農家が、団結の旗のもとに農政運動を強力に推進して参り度いものだ 農村は今、ハゲ山にならんとしている。農村に青年が一人でも多く残り安心して農業が営まれる様、今から各種農業団体は、足もとから考えを正し、一丸となって来るべき米価要求については、貫徹を期すため全勢力をしぼってまい進したい。

十月一日に

国勢調査

国勢調査（中間五ケ年目）は、十月一日現在で全国一斉に実施される。これは、内閣総理大臣から直接委嘱された調査員があたるが飯田市関係二十四人、郡関係四十三人が任命され、それぞれ定められた調査期間中、調査事務にあたる。

今回の調査では、いままでの調査員による聴取り調査とちがって配布された用紙に本人が記入し、それを調査員が集めるという方法がとられる。

実際調査にあたる人は、竜丘地区の関係では、駄科五人、長野原一人、時又五人、桐林三人、上川路二人となっている。

なお、七月一日現在、下伊那地事所調べによる郡市関係の人口は、十八万四千九百十四人でうち郡十万六千九百八人、市七万八千十四人となっている。

この国勢調査は、総理府統計局が担当して、通常十年に一回行なわれるが、今回の調査は、その中間にあたるものであり、いろいろの公式な統計の基礎になるもので正確な記帳が望まれている。

終点に近づいた

一貫水路

竜丘西区に於ける竜西一貫水路事業は、昭和三八年度から始まり三八、三九年度に於て桐林袋洞地籍まで水路工事が行なわれた。

内分水工として伊賀良井分水、太郎井分水、塚原分水の三分水が出来上った。

四〇年度工事は前年度工事の桐林すい道掘削部分五〇三米の底部巻立て及びこのすい道の中央部分一九三・一米の掘削巻立て、袋洞開渠一一・三米、ほこらすい道四二八・七米（内一五四は三九年度工事に於て掘削のみ完了）の掘削及巻立て及び臼井川サイフォンから琴原開渠までの一、三三〇米の施工し、分水工として上川路分大井、下井分水が施工される。

なお四〇年度工事ケ所は、上記細部の他は、臼井川サイフォン一三七・二米上川路すい道一八〇七米、久米川サイフォン九四二・一米、琴原開渠七〇米である。

また、年度別事業費は三八年度七、六六〇千円、三九年度六〇、九八二千円四〇年度五二、二〇千円である

駐在日記

愚な父が毎朝自分のせがれを小学校に送り出す時、決って「バイクや自動車に気をつけるのだよ」と言った。

愚な父をして子を思う切なる愛ははた目に見る愚言をかの如く毎朝くり返えしたのです。ここにまた愚なお巡りさんが一人居て村人の安全と社会の平和を念ずる余り千年一日の如く既に聞きあきた忠言をまたまた書きしるさせました。

それは交通事故にあわないよう。女の一人歩きは絶対やめて下さいという事でした。

お話に、花も恥い、年は二八か、憎からずと言った娘さんの暴行事件です この娘さんはT町の役所の書記さんでした。ぼつぼつお嫁入りの準備にと、役所の帰りS町でお料理と編物の講習を受ける事になり希望と夢で一里の道も遠しとせず、毎夜講習を受けて九時ころ帰宅しておりました。警察でうるさく女の一人歩きはいけないというので、その都度父が迎えに来て何事もなくすんでおりましたその中にある夜いつもより講習が早く終ったので、おそるおそる一人で帰りましたが結局無事でしたこの事から本人も家の人も大丈夫だと心に決めこんで以来迎へなしでした。処がある夜いつもの如く家路へ向った折り、後方から来た乗用車が音もなく止り「娘さん乗りな送ってやる」「いいえ結構です」彼女は答えた。「何を言っているんだつきあへよ」と強引に車の中へだき入れられ、バチヤンとドアー！をしめて発車、助けをよんでも誰も来てくれず、その後野獣の如き三匹の男の為めに獣欲をみたされてしまいました。もう取り返しはつきません。これはどこに原因があったでしょう。もちろん三匹の男はこの上もなく悪いがでもこれらの獣達に機会を与えた娘さんにも考えてもらわねばなりません。もう一度申上げます一人では歩くな。

（酒井）

ヤブ蚊

▼県下の農協貯金を八百五十億円にしようという運動が全国農協四兆円貯蓄運動と並行していっせいに、十二月末達成を目標に展開されている。それに並行して、最近農協では一日皆貯金とかいって農協の職員が農協を臨時休業して組合員の戸々を回り貯蓄意欲を盛りたてている。▼それによって七月末現在の竜丘農協貯蓄残高がこの不況下にもかかわらず一億五千万円あるという。これを一戸平均にすると二十四万円あまり………（竜丘農協組合員戸数六〇一）随分と沢山あったものだと感心させられる。しかし又組合員への貸付金も六千四百万円一戸平均十万円あまりあるという。この数字が示めす通り、農民の生活はそれ程豊かでないことがうかがわれる。▼職員に一日皆貯金だといってこられると多少は無理しても貯金したくなるのが農民だとか？。昔から人間は見え坊で、これをうまく利用したのが農協の一日皆貯金だという説もある。だから職員の手前ありもしない金を貯蓄する向きもあるとか……。▼農協は農民の貯蓄意欲を盛り立てるのは誠にけっこうな話だ。しかし、春、夏、秋冬と年四回にわたり農協を臨時休業迄もして一日皆貯金に回るのはどんなものか。また一日皆貯金は貯蓄をする余裕のある人に取ってはなんでもないが、貯蓄の出来ないものに取ってははなはだ迷惑な行為にすぎない。又農協貯金が農民へ低利で貸付けられているというなら話しは別だが………その可成りの部分が系統機関を通じて都会の大資本へ流れているという。▼元来農協貯金は単に金をためるということでなく農民の営農や生活に役立ち組合員の生産や所得を伸し、生活を向上させるための融資をたてまえとし他の金融機関とは大きく異なるときいている。しかし今の農協は貯蓄を呼びかけ金をためて独占資本の下請業社になっている様な気がしてならない農民がアセ水流してためた金で太るのは資本家ばかり。▼以上、一竜丘農協のことでなくいまの農協制度全般の問題としてとりあげた。念のため。

時又商店街を観る

商工会婦人部泉会
消費者動向調査より

現在の国道が時又、駄科の商店街をはずれる事になったので、今までよりは両商店街に集まる客が減少し、さびれる事が予想されるこの様な事から、いくつかの問題点を上げ、竜丘住民として考えて見ようと思う。まず現国道と新国道を結ぶ道路が商店街の繁栄、発展のためには大きな役割をはたす第一条件である。駄科においては道路が現国道と平行する事が予想され、また舗装された良い道路になっているので問題は少くない。時又は未舗装の悪い道路で新国道が大変はなれる。新国道へ商店街を移動する事が不可能ならば、現在の商店街へ新国道からの取り付け道路が必要となり、現在の道路を舗装しなくては、今後商店街として発展する事がむずかしいと思われる。

今秋には時又の舗装が実現する様であるが、是非現在の商店街の全部の舗装がなされる事がのぞましい。観光面においては初午祭り灯籠流し、鈴岡公園のつつじ祭り等があるが、時又の初午、灯籠流しはたった一日限りの行事で、商店街へ出て来てじっくりと買い物をするという様な事にない。古い伝統ある行事として残しておくべきであるが、商店街としてはもっと購買力のある観光対策を講じる必要がある。観光対策として今春時又に桜の木が百本近く植えれたこの事はこれからの時又商店街にとって大きなプラスになるだろう桜の花の咲いた、きれいな商店街へ出て来て買い物をする。又夏はウエストンの碑から天竜川沿いの月見草の花が咲く夜の商店街でのショッピング等が充実すれば大いなる発展も夢でなくなるのではないだろうか。

時又は往年の港町で交通の要所であり、泰阜、千代、竜江、上久堅、三穂、下条、大下条等から現在でも時又へ出て来て、飯田へ行く消費者もすくなくないが、今は飯田へ行く為に時又を通って行くだけになりつつある。どんな山村部へ行っても農協があり、購買部が年々充実してきて今まで時又へ来て買っていた物は農協で買えるようになって来た事が一つの原因にあげられるであろう。

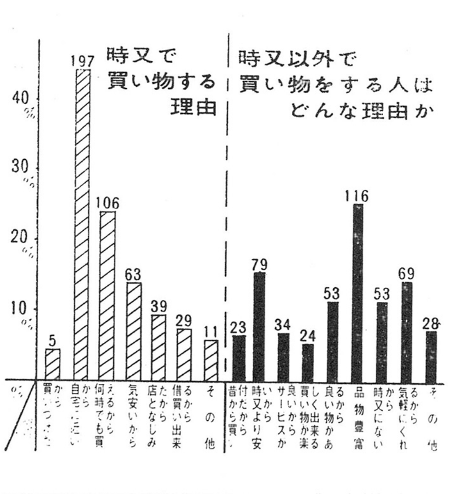
以上のような事から今後商店街自体が考えてゆくべき点も多くあると思う。先日時又商工会婦人部泉会の行った消費者動向調査にはそのことがはっきりと表にでている。まず、時又で多く買われる品物は、食料品、衣料品、文具、雑貨等身回り品が主となっている。ここで考えるべき点は、金額のまとまった買物、例えば衣料、電気器具等を他の商店街でしているということである。これは他の商店街の方が品物の量が多く好みのものを選択できること、流行品があること、又アフター・サービス等の関係にもよるものと思われる。又時又では店頭の感じが悪い、高い量目不足、衛生的でないという声も多くきかれるようだ。これなど他地区の方がよくみえるという点もあろうが、全てがそうだということはあるまいと思う。例えば衛生的でない点では、食料品を古新聞や雑誌の袋へ入れてくれる店がある。また棚の上にほこりがいっぱいたまっている等、客の買物意欲をそこなっている点も多い。

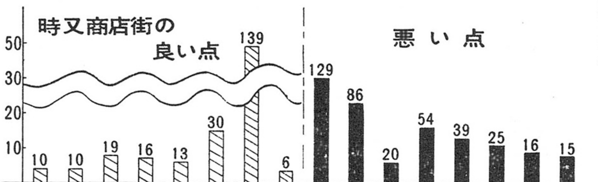
消費ブームといわれる現在、買物をすることは一面では楽しみの一つにもなっている。となれば明るい楽しいふん囲気の中で買物をしたいのは当然である。今時又でそのような店があるだろうか。スーパーマーケットのような自由な店で気楽に選び、飯田の近代的な店である程度自己満足にひたりながら、買物をしたいのも客の心理であろう。日常必要なものを買う以外の客を他の商店街へもってゆかれないようにする方法も自然と考えられるであろう。

又おたのしみ券についても考えなければならない。時又で買物をする人のほとんどがためていると思われるが、その行事内容についても批判が多い。不定期的な日帰り旅行も時には農繁期になったりするが、これがお客へのサービスとなろうか、又飯田のリンクスタンプのように品物交換を望む声も多いが、これもやってできないことはないと思う。個々でなく竜丘商店街が統一して行なえば更に大きな行事ができるのではなかろうか、又そうすれば集める方にも楽しみがふえるというものである。

地区内で買物をすることは、自分達の生活環境の向上にも大いに役立つものである。明るい近代的な店で夢のある買物をしたいのは竜丘住民の希望であろう。

消費者は常にマスコミを通じて豊富な商品知識を持ち、近代的、合理的な買物をするようになってきて今までのようなお得意様と店との結びつきもくずれつつある。客の考え方が進んでいるのに、商店が進まないのは商店の後退を意味することである。竜丘の商店街が今すぐ近代化する事はむずかしいが、近代化の為により一層商店が協力し、具体的実際的に実行できる問題に取りくんでゆく事が必要であろう。





市議挨拶

御挨拶

伊原悦雄

今春実施された市議選に於て大選挙区制とは云え地区有権者各位の理解ある御支援を戴いて上位当選の光栄に浴し、ただ感激の外なく此の紙面を拝借して厚く御礼申上げます。

此の度編集部担当の方から立候補のスローガンを含めて新市議としての抱負を披れきせよとの御指示に接したので多少時期的に間か抜けたと申しますか反古になった古証文の様に思いますが改めて、御披露致しますので、御許し戴き度いと存じます。

近時末端の地方自治体まで、政党化が強く浸透して参り、政党化こそ地方議会本来の政治の姿であるかの如き誤まれる風潮を眼のあたりに見る時、せめて末端の地方自治体だけでも中央政治の走狗となることなく、住民の自治としてせっかく克ち得た地方自治二〇年の歴史を守りぬき度いと思います。

又この政党化はともすると地方自治の自主性を喪失させ、市政は政争の場と化し、議員は善良な市民の受益代表者たる立場を忘れ、やがては市民と遊離した市政の貧困に通じる事は想像に難くないと思います。

従って私は、あくまで無所属を堅持し超党派的立場に立って是々非々主義に徹し市民と共にある市政の確立に協力を惜まない所存でございます。

又、飯田市は、経済的には極めて微羽の基盤の上にたって居り、加えて若手労働層の都市進出が著しく、逐年人口動態は減少の一途をたどりつつあり、誠に広域行政遂行に多難が予想されます。

要するに此の様な悪環境からの脱皮こそ急務であり、その為には未開発地域の開発を中心とした、しかも若い世代の人々に希望と期待を抱かせる様な強力な産業振興対策が痛感されますので最も関連の深い農林公共土木と共に地区各位の御支援を仰ぎ乍ら最善の努力を傾けてみたいと存じます。

× × ×

ごあいさつ

前島秀夫

今回皆様方の絶大なる御援助によりまして飯田市議会議員の末席を汚すことを得ましたことは、まことに身に余る光栄であります。不敏不才。私ごときものが立候補致し大選挙区制の下で行なわれた今次初の選挙戦にあの様な高点を以って当選し得るが如きは全く夢想だにしなかったところで、これひとえに地区有権者各位の多大な御同情の結果と、唯々感激に堪えない次第でございます。私はあの感激を堅く胸に刻んで、与えられました職務に最善をつくす覚悟であります。議会では総務常任委員になりました。今迄に松尾の代田山土取場跡を高松学園女子短大敷地としての払下問題に参画し本会議でも決定を見ましたので近く女子短大が建設せらるることと思います。その他旧福祉事務所跡を飯田郵便局舎建設地としての交換話も決りました。そして議会運営委員にもなり複雑多岐な議会運営には一年生誠に閉口ですが、正常な議会運営の為とにかく努力致す所存であります。

六月定例市会に於て六千余万円の未記帳赤字や合計弐億六百七十万円の赤字のあるを聞き、尚且つ遅くも来年初め迄には市長さんは本市を地方財政再建団体に持ち込む決心なるを聞かされました。本当に容易ならざる重大問題で、今後当地区要望の保育園、プール、国道改修その他すべての事に関係する処重大なるものがあり、地区の皆様の意のある処に従い十分に働かせていただく様取敢えず御願い致します。

ニッのプールのこと

わき上る入道雲強烈な陽光に輝く波、子供ならずとも水に親しみたいのは夏の人間の欲求である然るに集団眼病、集団下痢と余り有難くないことに悩まされた小学校がプールの使用不能という最悪の事態を招いて、今年は竜丘の児童にとっては〃水泳〃の二字が縁の遠いものとなってしまった龍江や市民プールまで親子がかりで出掛けた家庭以外の児童は水泳の出来ない寂しい夏休みを過ごしたことであろう。そして何とかプールを考えなくてはと思う願いはそれぞれに強かったことでしょう。

PTA常任委員会でも年度初めからこの問題について会長以下真剣に取り組んで来た。そして去る七月臨時総会を開いて種々討議した。現在あるものを補修して浄化装置などつけて幾年か漸定的に使用できるようにするために三百万円、総べてが完備した新設が六百万円、しかも補修には原則として市の助成もないというに及んでは最早補修か新設かを論議する段階は過ぎたようである。永久施設としての新設を考えるのみである。新設の場合県費助成が三十万、市の助成が総工費の一割というのが現段階での動かない線であれば、地区の地元負担はどうしても最低五百万ということになる。戸数割にすれば平均五千円の負担ということになる。緑ケ丘の負担金も済まないのにとても無理だと言はれるにちがいない。大きな壁がそこにある事を忘うと腰を切るのは仲仲に大変である。金があればという問題は此処にも深刻に迫って来る。さりとて国や県や市の予算を待ていては〃百年河清を俟（ま）つ〃に等しい。徒らに腕をこまねいていても何時までたっても解決はつくものではない。〃意志のあるところ道はある〃五百万という金額は確かに大きい。でもプロ野球の選手の一人の契約金が何千万という時代である。半永久的に何百何千人の竜丘の次代を担う子供達が輝かしい将来のための心身の鍛練の場として使用出来ること思うならば問題にする額でもなかろうかと思う。遠く近くなつかしい丘の母校を去り地区外に功成り名を遂げている幾多の同窓生もたくさんにいる。真剣に実情を説き真剣に訴えるなら共鳴してくれる人も多いことでしょう。又負担金の長期返済の方途も努力すれば必す存在することであろう。要は地区民一致の熱意の問題に帰すると思うのである。当分小学校には関係がないからなどという小剰的な考えを持つことのないように、健全な青少年の人づくりが明日の地区の繁栄につながることを銘記され一日も早く満々と水をたたえた美しいプールに希望に胸はづませる我が子、我が孫がたのしい夏の思い出を飾ることの出来るように、地区のみなさんに訴えたいのである。

時又保育園では、このほど父母の手によって、子供用のプールが完成し、園児達は暑い夏のシーズンを楽しんでいる。この五月、父母の総会で水の事故防止を話し合ったのがきっかけで保護者負担金、共同募金、寄付金等一五万円の予算に加えて父母達全員の労力奉仕によって立派に出来上った。大きさは、五米に三米、深さ四五糎と小さなプールであるが、時節柄各方面に話題を呼んでいる。

随想リレー 98回

平和慢性疾患

— 下平明朗 —

戦後満二十年。それは平和な二十年間でもあった。明治以後の日本に於ては、一番長い平和な時代なのだそうである。

戦乱の時代のなんであるかを知らない世代が、次第にとってかわろうとしている時、又それを経験した年代の人達の記憶も、二十年の歳月の彼方にようやく薄れようとしている。

日本の人達の多くが平和の護りのもとに、一日一日ささやかな幸福を願い[illegible]る現在、大きな不満な感じはない。

もちろん、物価が高い、住宅がない、通勤電車は満員だ、農産物価は安すぎる等、不満はさがせばいくらでもある。然し、今の段階では、その人個々の愚痴にちかく、集約されたうっ憤が存在しないということは、いったい、どのように考えればいいのだろうか。

もろもろの不満が、[illegible]不満が、たいして説得力も、変革へのエネルギーも[illegible]田圃の蛙鳴しに似た時代に、われわれは生きている。いや、生きていられる。という事は多分に政治的である。形の上では[illegible]とかく、現実の面に於ては、政治がわれわれから遠のいていく傾向がありはしないだろうか。それが今の政治である。どうにか暮せる、という事は、どうにか生きていかれるという事であろう。平和になれすぎた人々には、その「どうにか」に妥協し、政治の不在に対して、自分の不満を愚痴にとどめてしまい、われわれの政治は[illegible]不満のいえる平和は慢性疾患の如く、[illegible]

南ベトナムでは毎日命の失われる暴動を起し、日本では三矢研究が密に行われ、アメリカの爆撃機が同じアジア人を殺しに飛び立つ足場にしている。ライシャワーというアメリカの有能な駐日大使が、自国へ帰り、アメリカの南ベトナムでの行為が、日本人には大変評判を悪化させ、アメリカがベトコンに勝つより、日本人の心を失うほうが重大だ、と演説しているのに、日本の現実の政治をにぎるセンセイ達はアメリカさんのする事誠にごもっともと国会で述べている。

平和は万人が欲するとは限らない。平和でない事が自己の利益になるグループだってあるに違いないのである。[illegible]そのような人達に政治を独占されてはたまらない。

小さな不満を解消していく事も[illegible]平和を失[illegible]たとしたら、それは一体だれの責任であろうか。

ダンプカー

▼八月十五日、市及び飯田市商工会議所主催で、飯田夏まつりと称して、愛宕で花火があった。

その際市が全戸に配った番付をみると、全面市内の商店等の広告ばかりである。凡人の常識では花火の名の下に小さく提供者名を出すのが床しいやり方とされていた、花火番付も年と共に進歩したものだと感心させられる。さすがに大飯田市ともなるとちがったもので、花火番付変じて広告番付となるというところか。

▼最も寄付した方が、広告が目的であろうが、旧市内だけが対象になっている。政治は、まず近所の親しい人に対して行なうことが最も能率的といえる。

▼市費も相当額使われている。市民の、市民の為の楽しいお祭り万歳!

▼恒例の消防非常召集があった事前に流れた〃信頼すべき筋〃の情報と、[illegible]ちがったとか大いにあわてた向きもあったとか

▼エライ人の出ている地域の成績がいい様にみえる。これは決して情報がもれるのではなく、常日頃の訓練の賜物である。敬礼!

編集後記

◉公民館の河井主事が飯田市で唯一人選ばれて、全国社会教育主事講習会に出席のため教育大学に出張した。七月二十日〜八月三十日まで今後が期待される。

◉主事の留守の間につくった館報が本号。出来やいかに。

◉ベトナムでは毎日戦争が行われている。伊那谷では稲の穂波の上を赤とんぼがとんでいる。同じ青い空の下で考えさせられる。